



↑ 議会ホームページ  
はコチラ

# ようこそ 議会へ

# 迎春

第5回羽咋市議会定例会質疑・一般質問一覧 発言順序と質問項目

開議日：令和2年12月8日(火)

順序	発言議員	質問項目	質問形式
1	浅野 俊二	(1) 自然栽培の強化と定住促進について (2) 空き家対策について (3) 羽咋駅周辺整備について (4) 交通対策について (5) 交通事故対応における市長の見解について	一括質問
2	稲村 信成	(1) 市長公約である道路整備による経済活性化について	一括質問
3	川口 雅登	(1) 安心・安全に住めるまちづくりについて (2) 国道159号羽咋道路の進捗状況について	一括質問
4	酒井 一人	(1) 新型コロナウイルス感染症対策について (2) 羽咋駅周辺整備による「まちなか」の賑わい創出について (3) 防災対策について (4) 少子高齢化と人口減少の対応について	一問一答
5	松永 幸則	(1) 岸市長の選挙公約であるご発言について (2) 一般会計予算倍増の具体的手法について (3) 行政のスリム化について (4) 給食の充実化と公会計化について	一問一答
6	櫻井 英一	(1) 教育政策について (2) 子育て支援策について (3) 企業誘致と若者の定住策について (4) その他、市長が市長選で示した政策について	一問一答
7	浜名 等	(1) 羽咋駅周辺整備について (2) 住宅政策について (3) 空き家対策について (4) 押印の原則廃止について	一括質問
8	北川 真知子	(1) 新市長の政治姿勢と新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について (2) 子どもの教育環境、障害者医療費助成と介護サービスについて (3) 冬場の安全対策について	一括質問



浅野 俊二 議員

## 逃げるな市長 人身事故の真相解明に協力せよ



事故現場川原町地内

### 市議の交通事故を解明せよ

**【質問】** 平成30年9月議会で市長（当時市議）は当時の副市長の交通事故に対して、「事故後の義務措置を果たしていない。横断歩道付近での事故は飲酒運転と同様、加害責任が大きく刑罰も重い。当然懲戒免職になる。責任を取って辞めろ」と強調した。副市長は責任を取って辞職した。しかし、その2週間後に発生した市議の事故は大きな疑問だらけだ。①被害者は救急車で病院に緊急搬送されたのに当日の交通事故者はいなかったとされている。②4～5m飛ばされ全治2週間の診断書があるのに、なぜ物損扱いなのか。③事故報告義務があるが、いつ通報したのか。現場検証や呼気検査を警察は行なわなかったのではないのか。④事故前日、平成30年9月13日午後6時過ぎから11時半頃まで寿司屋とスナックで酒、ビール、焼酎等

を5時間以上飲んで、翌日朝6時半の追突事故。飲酒運転ではないか。⑤ある家で恒例の羽咋まつりの前夜祭が行なわれ、何人もの警察幹部と飲食していた。これで公平な業務が行なわれるのか。まずは本人自身が説明責任を果たすべきだが、市長の考えは。

**【答弁】** 個々の件について答弁を控える。議員の時の質問は二元代表制ということで、議会は市長のチェック機能という意味であり、市長は議会に対してチェック機能がないので、指摘の委員会（100条、政治倫理委員会）を設けて調査すべきと私は考えている。



稲村 信成 議員

## 国道159号・415号の 早期整備が市活性化に



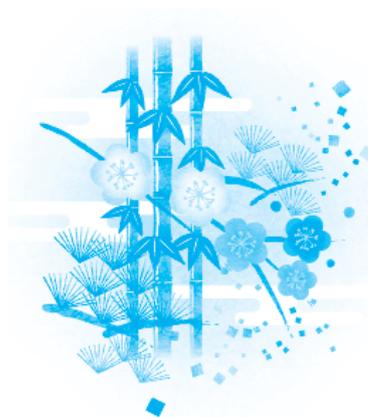
羽咋の基幹道路標識

### 国道159号・415号の早期整備を

**【質問】** 国道159号・415号の早期整備は、羽咋・七尾・氷見市との交流を進め、観光振興や防災等々極めて重要な政策である。市長には、富山・岐阜・名古屋経済圏との人・物・金を動かす太いパイプを作ることを、最重要優先政策として取り組むことを望む。①市民・市内各種団体・近隣市町村が一体となった活動が必要である。市長の具体的な活動イメージを問う。②名古屋の観光業や富山の企業は、冬でも大型バス・トラックが通れる羽咋バイパスの早期開通を強く期待している。

**【答弁】** 国道159号・415号は、地域間の交流や観光、災害避難路としての重要な基幹道路と選挙でも訴えた。近隣各市町の首長・議会・商工会・観光協会等の各団体と一体となり、関係国会議員、

関係省庁に対し更なる要望活動を行う。また、氷見市とも連携を深めて活動したい。



川口 雅登 議員

## 安心安全に住める まちづくりの推進を



土砂の堆積が進む酒井川

### 河川の堆積土砂のしゅんせつと除去

**【質問】** 異常気象を受け各地で甚大な被害が出ている。市内でも豪雨で河川の氾濫や土砂崩れがおきている。市民の生命・財産を守る防災・減災の重要性が増している。2年前の8月の豪雨では水谷川・永光寺川が氾濫し、水田や道路に大きな被害がでた。

これからは、被害が出ないように河川の堆積土砂をしゅんせつ除去してほしい。

**【答弁】** 河川の堆積土砂の除去は、洪水対策に大変有効な手段。長曽川や酒井川などのしゅんせつ工事をしてきた。今後も石川県に対し堆積土砂の除去を継続して要望する。市が管理する普通河川についても状況を見ながら土砂の除去に努める。

### 老朽化の進む東部配水池と送水場の更新を

**【質問】** 酒井町に余喜地区と本江地区に飲料水を供給している東部配水池と東部送水場がある。建設から44年経過し耐震化の対応もできていない。今後の対策を聞く。

**【答弁】** 東部配水池と東部送水場は余喜地区と本江地区の飲料水を供給している重要な基幹施設で建設から40年以上を経過し、耐震化未対応で老朽化が進んでいる。東部送水場は、国道159号羽咋道路への接続整備に伴い移転を計画している。令和3年度は実施設計を行い、令和4年度に送水場更新工事を行う。

東部配水池は、令和7年度末の更新完了に向けて順次、調査、設計、更新工事に取り組む。



酒井 一人 議員

## 前市長から引継がれた 重要課題への取組みは

### 羽咋駅東側浸水対策の住整備の取組みは

**【質問】** 羽咋市が整備して販売した住宅を含め、羽咋駅東側の居住地域は、羽咋川・子浦川ハザードマップでは、浸水深さが0mから3mの浸水区域にある。羽咋駅東側の各町をとりまく、子浦川の上昇水位よりも低い地域の治水対策が急務である。住環境整備の状況と今後の計画を問う。

**【答弁】** 羽咋駅東側の浸水対策として、水路のかさ上げや側溝の拡幅工事中である。今後も継続して行う予定である。子浦川の水位上昇で排水不良となる地域についても、側溝の拡幅整備、ポンプによる排水機能の増強を検討し、浸水対策を計画的に進めたい。子浦川の堆積土砂の除去も継続して、河川管理者の石川県に要望する。



治水対策が急務な羽咋駅東側の居住地域

### 羽咋市独自のPCR検査等の受診体制を

**【質問】** 感染拡大地域に出張等での往来、勤務先または家族に介護施設を利用する方がいるとき、1週間から2週間の自粛期間が余儀なくされ、家族生活・社会生活に支障をきたしている。冠婚葬祭等で県外に出向くことも自粛している現状がある。そこで、社会経済を早期に活性化するため、市独自の検査・医療体制や補助を望む。

**【答弁】** 現在、県による検査体制が整備されており、市独自の検査体制を整備する必要はないと認識している。しかし、早期の経済活動活性化のために、PCR検査等の必要性を改めて精査し、必要となれば、検査制度についても前向きに検討したい。



松永 幸則 議員

## 1. 公約である発言を問う 2. DX推進を



押印を廃止し、市民の負担軽減と効率化を

### 予算倍増の具体的手法は

**【質問】** 選挙時に、「政権与党でないから、国や県とのパイプが無いから予算が付かない。輪島市の一般会計は羽咋と人口がほぼ変わらないのに226億円と倍以上も違う。だから市民サービスが5割も低い」との発言があった。ついに政権与党、国や県とのパイプができたわけだが、具体的にはどのようなスキームで倍増させていくのか。

**【答弁】** 選挙中において、輪島市の予算を引き合いに出し、輪島市は2倍というような話はした。しかし、羽咋市の予算を倍増するという話は多分していないと思う。いかにして輪島市のように予算を膨らませていくか。要は予算を大きくして事業を回していく。やはりお金を回して地域の活性化が必要ではないかということだ。

### 行政のスリム化を

**【質問】** 行政のスリム化のため、DX（デジタルトランスフォーメーション）の積極的活用を求める。具体的には①市民の皆様から頂戴する各種書類の押印欄および性別欄の廃止②オンライン（電子）申請③クレジットカードをはじめとするキャッシュレス化について、今後の見通しは。

**【答弁】** ①押印については各種手続における市民や事業者の負担軽減に向けて、性別記入欄については人権に配慮し、今後廃止をしていく考えだ。②新型コロナウイルス感染症の蔓延防止や各種手続の利便性向上及び効率化を図る観点から推進に取り組んでいく。③住民サービスの向上を図る視点からも積極的に推進していかなければならない。



櫻井 英一 議員

## 市長選での公約を問う



寺家工業団地

### 教育政策

**【質問】** 市長は市長選において「残念ながら羽咋市では高度な教育を受けることができないのが現実。受けるには金沢市に行かなければならない。この問題を解決するために、社会教育施設などを進学塾に貸し出す」と述べている。高度な教育とは何か。また、社会教育施設を進学塾に貸し出すのは、金沢市の進学塾のみを想定しているのか。

**【答弁】** 高度な教育とは、学校が指導する学習指導要領の枠を超えたレベルの高い教科内容である。また、羽咋市の業者も含めて公募を行い、社会教育施設を進学塾へ貸し出すことも考えている。あくまでも市内を超えて塾に行っている方がいると聞いたので、わざわざ金沢市やかほく市へ行かなくても市内でという趣旨だった。

### 企業誘致

**【質問】** 第2期がんばる羽咋創生総合戦略の最初に出てくる基本目標1「魅力ある仕事を創出」において、企業誘致の推進を重要施策として掲げている。市長は市長選において「企業誘致は極力、地元資本で不可能な事業会社を選定するか、地元資本との協業を前提とすることを基本とする」と述べている。今後、具体的にどのように企業誘致を進めていくのか。

**【答弁】** 地元資本で対応することが難しい事業や、特殊技術などを有する企業を中心に、積極的な誘致を行っていく。市外の手資本の進出については、例えば地元資本と関連する熱処理工場やベアリング工場の誘致につながったように、市内企業と協業できる工場の誘致などを考えている。



浜名 等 議員

## 若者、子育て世代向けの宅地分譲を検討



解体工事が終わり整地が進むマルシェ跡地

### 千里浜IC、南羽咋駅周辺が候補地

**【質問】** 市長は公約の中で、住宅地を整備しているが、市長がイメージしている場所はどこか。また、想定する区画数はどれくらいか。

**【答弁】** 現在、市では若者、子育て世代などの移住定住につながる、新たな宅地分譲の検討を行っている。候補地については、千里浜インターチェンジ周辺や南羽咋駅周辺などの通勤通学の生活利便性がよく、暮らしやすく移住定住につながる魅力ある場所での検討を行っている。規模については、新たな居住地形成が見込め、分譲促進につながる小中規模、概ね20から30区画程度の検討を行っている。

### 羽咋駅周辺整備の全体予算、概算で28億円

**【質問】** 羽咋駅周辺整備関連する4つの事業を進めるには、多額の事業費が必要になると考える。想定される全体事業費はいくらか。

**【答弁】** 現段階では、実施設計や補償算定を行っていないため概算となるが、賑わい交流拠点整備、都市計画道路川原町線、周遊連絡道路である市道羽咋101号線拡幅事業を加えた全体事業費では、既に支出済の解体費用等を含め28億円程度と見込んでいる。今後、実施設計段階において経済設計に努めるとともに、国の支援をいただき、より本市の負担が減るように努めていく。



北川 真知子 議員

## “第3波”事業者に支援を



パセオ通り商店街

### 事業所の現状把握を

**【質問】** 消費税増税で大打撃の上、コロナ禍が襲い、商売の先行きが厳しさを増している。市長は就任の会見で、喫緊の課題は感染拡大予防対策とともに、「新型コロナウイルスにより経済的に影響を受けた方々への対応が必要。事業者の現状を把握して政策に生かしたい」と表明した。市内の事業者の実態を調査する予定はあるか。

**【答弁】** 市職員も把握に努めているが、私のほうでも来年にでも市内の企業及び事業者への訪問を行い、現状を把握しながら施策への反映を行っていきたい。

県の信用保証協会の話では、羽咋市が特に多く伸びているということで、経営が苦しく借入れが増えていると認識している。今後の推移を注視していきたい。

### 第2子の給食費無償化を

**【質問】** 学校給食費無償化は、少子化対策・子育て支援対策とともに若い人が住みやすい町づくりのためにも求められる対策である。第2子の給食費を無償化する場合、小中学校の対象人数と必要な予算を聞く。市長は、新聞のインタビューで子育て支援を進めるために小中学校の給食費を学年ごとに段階的に無料化の方針を示した。ぜひ実現してほしいが、市長の考えは。

**【答弁】** 第2子の給食費を無償化する場合、対象人数は小学校332人、中学校172人で、予算額は、小学校でおよそ1,850万円、中学校でおよそ1,100万円が必要。無償化については、学年ごとに拡充できないか検討している。

## 予算常任委員会報告

◎大塚 幸男 ○櫻井 英一 川口 雅登 酒井 一人  
松永 幸則 浜名 等 北川真知子 寺井 哲也  
稲村 信成 新田 義昭 塩谷 久司 中村 孝清  
山本 泰夫 浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第63号「令和2年度羽咋市一般会計補正予算第12号」など、議案7件、報告2件。

12月9日及び15日に委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、議案第63号及び議案第64号並びに議案第66号から議案第68号までについては、賛成多数により、原案のとおり可決。残りの議案2件、報告2件については、いずれも全会一致をもって、原案のとおり可決、承認した。

審査の過程での主な質問・答弁は以下のとおり。

**【質問】** 公立羽咋病院整備事業債について、過疎債が減額となった要因は何か。

**【答弁】** 当初予算では全体で11億8千万円の過疎債を予定していたが、国から県内の対象自治体一律で減額するよう通知を受けたため、別の起債で

対応できる過疎債を選んで減額した。

**【質問】** 市庁舎に防犯カメラを5台設置するが、設置場所はどこで、設置台数は全部で何台になるのか。

**【答弁】** 現在、市庁舎に防犯カメラは設置しておらず今回が初めてである。

場所としては、玄関ホール、西口、東口、地下に各1台ずつ設置する。

その他として、防犯カメラの運用ガイドラインについて、市内宿泊施設の宿泊者の現状について、松枯れの伐採について、高齢者の運転免許証自主返納について、ふるさと納税の見込みについて、システム改修についての、質問・答弁がされた。

## 総務民生常任委員会報告

◎櫻井 英一 ○酒井 一人 寺井 哲也 大塚 幸男  
塩谷 久司 山本 泰夫 浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第69号「一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について」など、議案11件、請願1件。

11月30日及び12月10日に委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、付託された議案11件について全会一致で原案のとおり可決した。請願1件、請願第6号「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書の提出を求める請願書」については、賛成少数により不採択とした。

審査の過程での主な質問・答弁は以下のとおり。

**【質問】 人事院勧告による一般職の平均引下げ額はいくらか。**

**【答弁】** 平均引下げ額については、一般職で2万1千円程度、会計年度任用職員で6千円程度になる。

**【質問】 老人福祉センターについて、新型コロナウイルス感染症により一時休館していたが、再開後の利用状況はどうか。**

**【答弁】** 本年度4月から9月の利用者数を、前年度の同時期と比較すると、休館期間があった影響もあり、全体で30%の減少となったが、浴場利用者については、前年度並みに回復してきている。

**【質問】 保育園の指定管理者について、利用する子どもが年々減少していく傾向であるが、保育士が過剰となり、経営を圧迫することはないか。**

**【答弁】** 複数の保育園の経営による保育士の確保や、子どもの人数に合わせた各保育園の定員の変更で対応している。

その他として、国民健康保険税条例の一部改正について、PCR検査について、暴力追放宣言についての質問・答弁がされた。

## 産業文教常任委員会報告

◎新田 義昭 ○松永 幸則 川口 雅登 浜名 等  
北川真知子 稲村 信成 中村 孝清

当委員会に付託された案件は、議案第76号「羽咋都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について」など議案2件。

12月11日に委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、議案2件は、全会一致をもって可決、採択した。

また、報告事項について、詳細な説明を求める質問・答弁がなされた。

その他として、コロナ禍による水道料金の減免措置について、千里浜町地内の融雪設置工事の時期について、交通事故報告の全庁的な周知方法についての質問・答弁がされた。

ほかに、邑知小学校通学児童へのスクールバスの運行等について、羽咋川・子浦川の中州に堆積するごみ処理問題、中央町地内のバス停老朽化における対応について要望がされた。

## 決算特別委員会報告

◎稲村 信成 ○櫻井 英一 酒井 一人 浜名 等  
北川真知子 塩谷 久司

当委員会に付託された案件は、「令和元年度羽咋市一般会計歳入歳出決算」をはじめ、4つの特別会計歳入歳出決算並びに2つの企業会計決算の合計7件。

9月14日を初日とし、計3回にわたり委員会を開催し、予算が適正かつ効率的、効果的に執行されたか、また、市民福祉の向上に寄与し、行政効果が十分発揮されたかを主眼に、慎重に審査した。

その結果、付託された認定7件のうち、認定1号から認定4号及び認定6号並びに認定7号については、賛成多数で原案のとおり認定。認定5号については、全会一致で原案のとおり認定した。

審査の過程での主な質問・答弁は以下のとおり。

**【質問】** 戸籍住民基本台帳管理事業の中で、現在マイナンバーカードの普及率はどのくらいか。今後、この事業は伸びていく見通しがあるのか。

**【答弁】** マイナンバーの交付率は、9月末現在で約19%となっており、前年度末からみると少しポイントが上がっている。国でマイナポイント制度を推進しており、この効果から普及率が伸びていくものと思われる。

**【質問】** 小学校施設整備事業で、省エネのために照明をLED化した一方、冷房設備も完備されたが、全体の電気料金についてどのような傾向が見られたか。

**【答弁】** 令和元年度に、市内全小中学校にエアコンを設置しているが、昨年度と光熱水費を比較した場合、

あまり変化は無い。暖冬ということもあるがLED化の効果もあると考えている。

**【質問】** 介護保険給付費準備基金の今年度における積立額見込みと、来年度に改定となる介護保険はどうなるのか。

**【答弁】** 準備基金については、例年、計画給付費より実績が少なかったため積立をしてきており、現在2億9千万円程度の残高がある。来年度の保険料改定に向けて、現在介護保険事業計画の策定委員会が開かれているが、まだ推定値も確定していない。基金を取り崩すことも考えながら、出来るだけ保険料が上昇しないように配慮したい。

その他として、障がい者雇用における法定雇用率について、移住定住推進事業、羽咋フェアの今後の見通しについて、合宿誘致支援事業の反応について、道路維持管理事業におけるマツクイムシ防除業務について、消防施設管理事業における防火水槽の撤去理由について、介護保険配食サービスの利用者負担金についての質問・答弁がされた。

令和元年度の各会計決算においては、各事業の成果は現れているが、当委員会の指摘・要望事項を十分理解し、今後も迅速かつ確かな事業展開と財政運営に努めることを総評として、当委員会の報告とする。

## トピックス

### 第44回 能登五市議会議員研修会が開催される

11月12日に、七尾市の和倉温泉「あえの風」において、第44回能登五市議会議員研修会が開催され、羽咋市議会議員が受講した。

本研修は、羽咋市を含め珠洲市、輪島市、七尾市、かほく市の能登5市の市議会議員の市政研修として開催されている。

当日の会場は、新型コロナウイルス感染症対策が施され、検温、手指消毒、マスク着用、そして三密にならない会場づくりがなされていた。

研修の講師は、国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所の今藤勝俊所長より「能登の道路事業と道路行政の話題」の演題で講義を受講し、①令和2年度予算の概要、②能登地域の道路事業、③社会資本の老朽化対策、④災害対応についての講演内容で、演題の具体事例の中で、「国道159号(羽咋道路)の進捗状況と今後の見通し」についての説明もなされた。

また研修後は能登5市の議員がグループに分かれて、各市政についての「意見交換会」も開催された。

あらためて、能登5市の議員が一致協力し、能登の発展に寄与することの大切さを再認識した。



能登五市議会議員研修会の会場風景

## 令和2年 第5回定例会 12月議会 議決一覧

◇ 令和2年度羽咋市一般会計補正予算や条例案など、議案21件、報告2件、認定7件を可決、承認、認定し、請願1件を不採択とした。

### ■全会一致で議決された議案

	議 案 名	議決結果
議員提出議案第8号	防災・減災、国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書の提出について	可 決
市長提出議案第65号	令和2年度羽咋市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可 決
市長提出議案第69号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	可 決
市長提出議案第70号	常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可 決
市長提出議案第71号	羽咋市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正について	可 決
市長提出議案第72号	羽咋市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	可 決
市長提出議案第73号	羽咋市国民健康保険条例の一部改正について	可 決
市長提出議案第74号	羽咋市介護保険条例の一部改正について	可 決
市長提出議案第75号	羽咋市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準に関する条例の一部改正について	可 決
市長提出議案第76号	羽咋都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について	可 決
市長提出議案第77号	こすもす保育園の指定管理者の指定について	可 決
市長提出議案第78号	とき保育園の指定管理者の指定について	可 決
市長提出議案第79号	邑知保育園の指定管理者の指定について	可 決
市長提出議案第80号	羽咋市老人福祉センターの指定管理者の指定について	可 決
市長提出議案第81号	羽咋勤労者総合福祉センターの指定管理者の指定について	可 決
市長提出議案第82号	令和2年度羽咋市一般会計補正予算（第13号）	可 決
市長提出報告第23号	令和2年度羽咋市一般会計補正予算（第10号）の専決処分の報告について	承 認
市長提出報告第26号	令和2年度羽咋市一般会計補正予算（第11号）の専決処分の報告について	承 認
市長提出認定第5号	令和元年度羽咋市千里浜財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定

### ■意見が分かれた議案

○は賛成 ×は反対 欠は欠席

	議 案 名	川口雅登	酒井一人	松永幸則	浜名等	北川真知子	寺井哲也	櫻井英一	稲村信成	大塚幸男	新田義昭	塩谷久司	中村孝清	山本泰夫	浅野俊二	議決結果	
市長提出議案第63号	令和2年度羽咋市一般会計補正予算(第12号)	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	×	可 決	
市長提出議案第64号	令和2年度羽咋市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
市長提出議案第66号	令和2年度羽咋市介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
市長提出議案第67号	令和2年度羽咋市水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
市長提出議案第68号	令和2年度羽咋市下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
市長提出認定第1号	令和元年度羽咋市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	議長は採決に 加わりません	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定	
市長提出認定第2号	令和元年度羽咋市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定
市長提出認定第3号	令和元年度羽咋市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定
市長提出認定第4号	令和元年度羽咋市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定
市長提出認定第6号	令和元年度羽咋市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定
市長提出認定第7号	令和元年度羽咋市下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定
請 願 第 6 号	「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書」の提出を求める請願書	×	×	×	×	○			○	×	×	×	○	×	×	○	不採択

## 議会活動報告

- 10月13日(火) 議会全員協議会  
 (1) 令和2年度羽咋市一般会計補正予算(第10号)の専決について  
 (2) 令和2年9月6日発生豪雨による被害状況について  
 (3) (仮称)羽咋駅周辺賑わい交流拠点の事業手法について
- 11月12日(木) 第44回 能登五市議会議員研修会 《開催市》七尾市  
 演 題：『能登の道路事業と道路行政の話題』  
 講 師：国土交通省 北陸地方整備局金沢河川国道事務所長 今藤勝俊氏
- 11月16日(月) 議会全員協議会  
 (1) 中学校スクールバスの運行拡充について  
 (2) 令和2年10月5日発生豪雨による被害状況について  
 (3) 令和2年度羽咋市一般会計補正予算(第11号)の専決について  
 (4) がんばる羽咋創生総合戦略の効果検証・評価結果について
- 11月19日(木) 石川県市議会議長会知事要望(正副議長出席)  
 ※県下各市の要望事項50件の「要望書」を県知事に提出

## お知らせコーナー

### 「市民の声」を募集

市議会だより編集委員会では、市民の皆さまの声を募集しています。議会に対しての感想などがありましたら、下記までお気軽にお寄せください。  
 〒925-8501 羽咋市旭町ア200 羽咋市議会事務局 ☎22-7160 FAX 22-7210  
 Eメール gikai@city.hakui.lg.jp

### 傍聴してみませんか

市庁舎5階の議場入口で、住所、氏名、年齢を記入するだけで自由に傍聴できます。次の議会定

例会は3月上旬に開催予定です。一度、傍聴してみませんか。

#### ●インターネットでも視聴できます

羽咋市議会では、本会議の審議状況を市のホームページで映像配信(生中継)しています。また、録画映像も配信しており、常任委員会についてもご覧いただけます。

#### ●アクセス方法

「羽咋市公式ホームページ」を開き、トップページ中段の「羽咋市議会」をクリックし、「インターネット議会中継」の欄から視聴したい項目をクリックしてください。

## 編集後記

コロナ感染が急拡大する中、市民のみなさんには特別な年末年始を迎えられたことと思います。医療従事者からは、「感謝の言葉より、感染拡大を止めて」という悲痛な訴えも発信されています。気を緩めず、感染防止に最大限つとめていきましょう。

12月議会は、岸新市長が初めて登壇、松永、川口両新議員も含め8人の議員が市長と論戦を交わしました。

市議会だより編集委員会も新たなメンバーとなり、市議会がより身近に感じられる紙面づくりに努力していきます。

(北川真知子)

### 市議会だより編集委員会

委員長	酒井 一人
副委員長	北川真知子
委員	川口 雅登
	松永 幸則
	浅野 俊二